

防災

# 備えましょう！

大切なペットを災害から守るために

もし災害がおき、飼い主がいなくなったら誰がペットの世話をするのでしょうか？

ペットは世話をしてくれる飼い主がいないと生きていけません。飼い主が無事生き残ることがもっとも大切なことです。飼い主が無事であればペットを助けることができるのです。

大切な家族の一員であるペットと共に避難できるよう、十分な準備をしておきましょう。

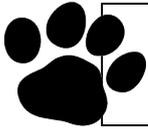
## 災害はいつ起こるか分かりません。

**いざという時にあわてないように、日頃から準備をしておきましょう！**

- 迷子になっても身元がわかるように、ペットには犬の鑑札・迷子札、マイクロチップをつけましょう。また、首輪に住所、連絡先を記入しておきましょう。
- 非常時には、クレート（ケージ）でペットを飼養できるように、普段からクレートになれさせましょう。
- 避難場所でおびえて鳴いたり、暴れたりしないように、犬には、普段から社会的トレーニングを心がけ、咬み付きや無駄吠えなどをしないようしつけましょう。
- 《やめ、だめ》、《すわれ、まて》、《こい》、の3つの命令はおぼえさせましょう。
- 掛け声で排泄させるトイレトレーニングをおぼえさせましょう。
- 自動車への乗車になれさせましょう。
- 予防接種やノミ・ダニなどの駆除をおこないましょう。
- 動物の一時預かり先を確保しておきましょう。

## 被災しても、ペットをむやみに放さないでください。

- おびえたペットが人を攻撃したり、生き残ったペットが繁殖し、生活環境をおびやかす原因となります。



## 避難時に用意しておきたいペットの防災用品

- **動物の写真** 迷子になったときに探す手がかりになります。また、わん・にゃんカードに貼って所持しておくとい良いでしょう。動物の身分証にもなります。
- **キャリーバッグ、クレート** 小型犬や猫などはキャリーバッグ、中型犬などはクレートを用意しておきましょう。避難の際、また、避難後の寝床としても役立ちます。
- **引き綱・首輪（犬や猫）** 避難場所で係留する時などに必要です。また、避難の際、引き綱がすぐ装着できるように、普段から首輪ははめておきましょう。
- **餌と水（7日分以上）** ドライフードなど、長期保存が可能なものを用意しておきましょう。療法食など特殊な餌は、多めに用意しておきましょう。
- **おもちゃ** ストレスによる吠えなどを防止するためにも用意しておきましょう。
- **ペットシート** トイレを衛生的に管理するため、用意しておきましょう。
- **ポリ袋** ゴミ袋としてはもちろん、食器代わりに使うことも可能です。
- **動物手帳（飼い主や動物の記録）** 動物の既往歴や健康状態、飼い主の連絡先などを記録したものを用意しておきましょう。
- **手入れ用品** ペットを清潔に保つため、ブラシ、コーム、消臭剤、ウエットタオルなども用意すると良いでしょう。  
避難のときに全て持ち出せるとは限りません。  
さまざまな場合を想定し、持ち出し順位をつけ、人の避難用品とともに保管しておきましょう。



千葉市動物保護指導センター

電話 258-7817 FAX 258-7818

E-mail [dobutsuhogo.HWH@city.chiba.lg.jp](mailto:dobutsuhogo.HWH@city.chiba.lg.jp)